



国際会長

2021-2022年度主題

キム・サンチエ(KR)

“Heal the World with Love and Dignity”

アジア太平洋地域会長 大野 勉 (JP/神戸ポートクラブ)

“Think for the next generation”

東日本区理事 大久保知宏 (宇都宮クラブ)

「100年を超えて変革しよう」

湘南・沖縄部長 若木 一美 (横浜とつかクラブ)

「咲かそう 人の輪」

クラブ会長

辻 剛

「弱者に寄り添う愛と奉仕の実践」

スローガン：「生涯現役」で楽しいクラブライフを！

2021-2022 クラブ役員

会長	辻 剛
副会長	林 茂博
書記	鈴木 茂
会計	横田 孝久

**今月の聖句**

「神は豊かな憐れみにより、わたしたちを新たに生まれさせ、死者の中からのイエス・キリストの復活によって、生き生きとした希望を与え、また、あなたがたのために天に蓄えられている、朽ちず、汚れず、しほまない財産を受け継ぐ者としてくださいました。」  
(Iペトロ1・3-4)

**《巻頭メッセージ》**

坂口 直樹



近宇宙論の本を読んでみた。ごく普通のサラリーマンとして長年暮らしてきたが、ふと地球はなぜ浮いているんだろう、宇宙の果てはどこまで続いているんだろう、ブラックホール（光も吸い込まれる穴？）ってなに、その中に入るとどうなるの、他の星に私たちのような知的生命体はいるのといったことが気になったからだ。本によると宇宙は137億年前にできた。宇宙の果ては光のスピードでずっと膨張し続けているからその果てを見ることできない。無から創造された宇宙は誕生から3分後に元素ができ、だんだん冷えて2億年後に星ができ始めた。太陽系は50億年前にできたが太陽はあと50億年で燃え尽きるの、それまでに地球のような星を見つけて地球脱出しないとイケない。真空と思っていた宇宙空間は何もないわけではなく正体のわからない暗黒物質（ダークマター）というもので満たされているらしいなどなど、..ここまで辛抱して巻頭読んでいただきありがとうございます。私もちんぷんかんぷんなのです。ただただ不思議と言わざるを得ない。肝心なのは物理学者が宇宙を観測して発見した自然法則のすべてが偶然か奇跡的に人間の存在するのにちょうどよい結果となっているとのこと。ちょっとでも法則が違っていると今の地球は存在しないし人類も存在しなかったというのです。人間がこの世に存在するために法則ができているとも考えられます。そんな奇跡の中に生かされている自分を思うと毎日を大切に精一杯生きていくのが義務なんだと改めて思うこの頃です。（私の稚拙な知識で間違った理解が多々あります事ご容赦ください。）



て、2月24日にロシアがウクライナに侵攻して1か月半が経った。戦いは一進一退で長期化の様相だ。国連の発表(4/3)では少なくとも1430人の市民が死亡し、このうち121人は子どもだということです。国外退避するウクライナ人は400万人を超えた。プリンが発行される頃はもっとひどくなっているかもしれない。犠牲になる市民は何も悪くない。人権侵害、武力はもうやめてほしい。ロシアとウクライナは地続きで民族が混在し同じ文化も共有していたのに。30年程前会計システムの説明のためモスクワに出張したことを思い出します。キエフ事務所からもウクライナ人の女性スタッフに出張で来てもらいロシア人とウクライナ人一緒に楽しく過ごしました。仲が良かった人たちは何のために誰のためにそうってしまったんだろう。一刻も早く平和を取り戻してほしいと祈るばかりです。  
(完)

**4月本例会**

日時 4月22日(金)17:00～

場所 田園都筑教会

司会:今城宏子 受付:鴨下純久

=プログラム=

- 1) 開会点鐘 会長
- 2) ワイズソング/ワイズの信条 一同
- 3) 会長挨拶 会長
- 4) ゲスト・ビジター紹介
- 5) 卓話 堤 ひろみさん  
「わたしのオルゴール物語」
- 6) 各種報告・連絡
- 7) YMCA報告
- 8) アピール 等
- 9) Happy Birthday  
鈴木恭子さん (4/9)  
福島佐世子さん (4/17)
- 10) 閉会点鐘 会長



## 《例会報告》

2022年3月度本例会報告

鈴木 恭子 記

日時:2022年3月25日(金) 17:00~19:00  
(Zoom方式)

出席者:相賀、今城T・H、岡田、鴨下、坂口、  
鈴木K・S、辻Ta・Ts、林、横田  
ゲスト・大野君枝様 (計13名)

司会:鈴木茂 受付・報告:鈴木恭子

～議事次第～

1. 辻会長による開会点鐘
2. ワイズソング・ワイズの信条の唱和
3. 相賀チャプレンによる今月の聖句と祈禱(ミカ書6:8)
4. 会長の挨拶とともにゲストの大野君枝さんの紹介および欠席会員の近況報告  
胡麻尻さん:肺炎のため入院  
福島さん:転倒し怪我
5. 次期会長・部役員研修会 報告  
2022年3月5日の次期会長・役員研修会(区主催・ウェブ会議)に出席した林茂博さん(次期会長)より概要の報告があった。  
●東日本区の現状、国際協会・アジア太平洋地域の現状、YMCA理解  
●東日本区次期理事方針  
●2022-23年度東日本区行事予定など。  
また、次期湘南・沖縄部ユース事業主査 鈴木茂さんより以下各事業の方針についての報告があった。  
●地域奉仕・YMCAサービス事業  
●会員増強事業  
●国際・交流事業主任  
●ユース事業
6. 協議・確認事項
  - ①「世界一斉清掃(4/2)Week4Wasteへのつづきクラブの対応について」  
●様々な意見が出たが、近隣の道路や公園の清掃状況に鑑みて当クラブとしては不参加とした。
  - ②今年度の『クラブの活性化!のための活動方針』の進捗状況再確認  
●魅力ある例会・・・これまで5回7名の素晴らしい卓話を聞くことができた。  
●既存活動の見直しと再稼働・・・みやま荘&つばめの杜保育所宛「3.11お見舞い記念品(訪問時の写真)」を送付、・・・つばめの杜保育所へのオンラインによるお誕生日会実施を提案中。  
●15周年記念事業の検討・・・「つるみクラブとのDBC

締結」は、次回対面例会で継続審議する。

- 20周年記念例会に向けての準備開始。
- オンライン・リモコン方式の習熟・・・例会は対面式を原則とするも、コロナ後もオンライン会議の習熟は必要と考え、会員のスキルアップを図る。現実には、コロナのため対面での例会はほとんど実施出来ず、林さん坂口さんのご尽力によりZoomまたはハイブリット形式での例会が行われた。
- ③「YMCA維持会員のアンケート」の件 (確認)  
回答期限は過ぎているがまだの方は今からでも提出するよう要請した。
- ④ロースター用メンバーリストにつき、各自自分の欄をチェックし、誤記載があれば会長まで報告する。

## 7. アピール・報告等

## 1) クラブ

- ・山元町にお送りした3.11お見舞い記念品に対して、お礼の電話あり。(辻会長)
- ・社会福祉協議会に4月以降のボランティア保険に全員加入した。(横田会計)
- ・都筑教会に対し2021年度会場費5か月分を支払う。(横田会計)

## 2) 東日本区のワイズ・ナイトフォーラムが4月16日(土) 20:00時よりzoom方式で開催。

## 3) YMCA

- ・春休みキャンプはコロナのため中止。
- ・ウクライナ支援募金のYMCA宛てとして、つづきクラブより1万円受領した。
- ・5月27日(金)のつづき・つるみ・北Y合同懇親会には、北Y運営委委員会のメンバーも参加させていただきたい。茂木元委員長も参加予定。

## 8. 行事予定

- 4月22日(金) 17:00～ 本例会/卓話・堤氏 (@田園都筑教会)
- 5月10日(火) 17:00～ 事務例会 (@田園都筑教会・ハイブリッド)
- 5月27日(金) 18:00～ 北Y/つづき/つるみ3者合同懇親会 (@「敦煌」)

## 9. Happy Birthday

- 鈴木恭子さん(4月9日)  
福島佐世子さん(4月17日)

## 10. 閉会点鐘 辻会長

(了)

《連載寄稿》

恥ずかしのワイン蘊蓄 ～7～

横田 孝久

さて、先月号での大阪ワインに興味を持たれましたか、どないでっしゃろ。

今回は2016年10月28日の移動例会での思い出です。富弘美術館や足尾銅山とココファームでのワインと宇都宮餃子の楽しい例会でした。

そこで、ココファームのワインについて少し蘊蓄を記したいと思いましたが、当時は思い出してお読み頂ければと思います。

ココファームは1950年代に障がい者支援施設「こころみ学園」の川田昇氏によって設立されました。足利の急斜面で、当時、知恵遅れと呼ばれていた少年たちは、汗まみれになりながら夏草を刈り、寒風の吹きすさぶなかで穴を掘って開墾してきました。平均傾斜38度のこの葡萄畑は、陽当たりや水はけがよく葡萄にとって最良の条件です。しかし、耕運機やトラクターなどが使えず、人間の足で昇り降りするしかないのて枝の剪定やたい肥やり、または一房一房の摘房作業、籠をかかえての収穫・・・全ての作業が自然の中での労働を通して、自らの力をつけ、毎日の暮らしの中で知らず知らずのうちに寡黙な農夫は陽に灼けた葡萄畑の守護人になりました。そして、1980年代になりワイン醸造を享受していくことになったのです。そこはフランス人の醸造家からも技術を学んで世界に名を知らしめるワイナリーにまで到達したのです。畑では除草剤や化学肥料は一切使わず、醸造場での醗酵も天然の野生酵母や野生乳酸菌が中心で“こんなワインになりたい”というブドウの声に耳を澄ませ持ち味を大切にをモットーに誇りをもって、ワインづくりに励んでいます。

さて、我々も例会時は丁度昼食時間に合わせての訪問でワイナリー直営のレストランで食事と共にワインを楽しみました。確か白ワインはプティ・マンサン（別名：月を待つ）であったと記憶していますが少しあやふやです。赤ワインは農民ロッソ（別名：風のエチュード）でした。ココファームのワインはJALやANAの国際線ファーストクラスに採用されたり、伊勢志摩サミットでも飲まれました。本当に有名になったわけです。このファームのワインは実にユニークなエレガント（ラベル）名前がついています。例えば先ほどの「月を待つ」「農民ロッソ」「あしここ」(Ashicoco)

これがファーストクラス用です。また、「いまこ赤」「第一楽章」など本当にユニークです。

農民ロッソとはRosso、イタリア語で赤のこと、雨の日も風の日も、一年中空の下で葡萄を栽培する人たちに敬意を表してつけられた。また、「あしここ」の白ワインは最初は「ココワイン」という名前でしたが、漢字の呱呱と和飲を合わせて「足利呱呱和飲」になり2015年から新しい名前として「あしここ」として登場しました。「月を待つ」は江戸時代、足利の隣町の佐野に暮らしていた儒学者、中根東里（1694～1765）の「出る月を待つべし。散る花を追うことなかれ」からです。

まだまだ多くの名前がありますが、ご興味があれば再度ココファームへ行き飲んでみてください。

今回の蘊蓄の締めこころみ学園の言葉をお披露目します。小生の好きな一言です。

“歳をとることは明日があること、明日があることが続くと、おじいさんやおばあさんになること。「あした(明日)がんばる」と言ってファームの人達はワイン造りに励んでおられるのです。さて、日本ワインは北海道から九州まで全国で最近では造られています、小生はほとんど飲んでおりませんので、日本ワイン旅行については今回で終了します。

全国に旅して飲んでみたいのですが何せ歳をとりすぎました・・・。

次号はどうしましょう？ 家飲みワインでも飲みながら考えます。(完)



ココファームのブドウ畑



3月のデータ

例会出席	14名	在籍会員数	16名	各種記録	3月実績	年度累計
メンバー	13名	月間出席者数	13名	スマイル	0	13,000円
ビジター	0名	メ・キャップ	1名	—	—	—
ゲスト	1名	月間出席率	88%	—	—	—

**横** 浜では、例年より3日ほど早く桜が開花しました。この時期は、入園や入学など、新たな道へ一歩を踏み出す人も多くいます。横浜北YMCAも新たなメンバーを迎え入れ、新しい年度が始まりました。皆さんの期待に応えられるよう、スタッフ一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

毎年、4月末から1ヶ月程度、横浜YMCAでは、家族で子どもたちの健康や成長を考えるために「ヘルシーキッズ&ファミリーキャンペーン」を実施しています。今年度は、キャンペーン期間中に「怒らない指導、怒らない育児」をテーマにしてセミナーを企画してします。女子バレーボール日本代表として活躍された益子直美さんを中心として、海外で少年のスポーツ指導をされてきた方々とYMCAのスタッフが登壇し、子どもたちへのスポーツ指導を中心にディスカッションを行う予定です。益子直美さんは、ご本人の中学、高校時代を振り返ると、監督から怒られることばかりで、バレーボールを楽しみを感じたことがなかったそうです。いつも怒られないために何をすればよいかを考え、萎縮したプレーを繰り返していたそうです。

**小** 学生はスポーツを始める入り口の段階です。子どもたちが楽しんで取り組める環境作りをしたいと思い、数年前から「監督が怒ってはいけない大会」を始めたそうです。試合中、怒った監督は、マスクを付けてしばらく静かにすることがルールになっているようです。怒る指導で失われるものが4つあると益子直美さんは言われています。1つは

選手のチャレンジ精神、2つ目は主体性です。与えられるばかりなので道なき道を自分で切り開いて進むということができなくなります。3つ目は学ぶ機会です。怒る指導は「ああしろ、こうしろ」と答えを与えてしまうので、全く学ぶ機会を与えられなくなります。4つ目に笑顔です。笑顔がなくなることとはとても大きな問題とされています。このことは育児にもつながることではないかと感じています。この機会に皆さんと一緒に子どもたちへの関わり方について考えていきたいと思えます。(完)

～トピックス～

去る3月25日、『第1回横浜YMCAリーダー感謝会』が開催され、ワイズメンズクラブ湘南・沖縄部の方々にもご出席いただきました。



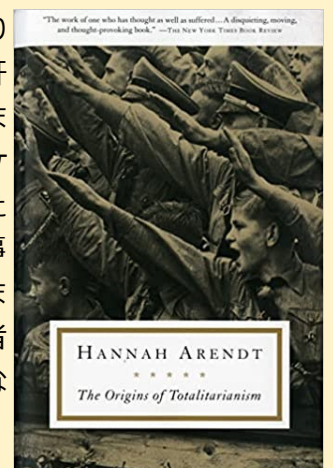
## 会長の本棚より 辻 剛

「二つの世界戦争、一世代のうちに起こり、途切れのない一連の局地戦争と革命によって分離されるその大戦は、敗者のための講和条約も勝者のための休息も与えないままに、残存する二つの世界大国間の第三次世界大戦を予期させて終わった。(中略)

われわれの未来がこれほど予測できないことは今まで一度もなかったし、常識や自己利益の規則にしたがうとは思えない政治的な力一別の世紀の基準から判断するならばまったく狂気の沙汰にしか見えない力にわれわれがこれほど異存したことは今まで一度もなかった。」(「全体主義の起源1」反ユダヤ主義) ハンナ・アーレント著)

これは著者による初版の前書きの一部ですが、書かれたのは1950年夏です。しかし、昨日書かれたといっても誰も疑

わないでしょう。バイデン米大統領は習近平やプーチン対して「民主主義と専制主義との戦い」といっています。浅学菲才の身、専制主義も全体主義も権威主義も違いはわかりません。だがスターリンとプーチン、毛沢東と習近平、金日成と金正日、この独裁者たちの統治モデルは上記3つのカテゴリーのどれかに分類されるのは間違いないでしょう。国際法上何の大義もない中での軍事侵攻は、ナチス・ドイツの第2次世界大戦開戦にも比較されます。今回の暴挙により主要各国に軍事費予算を軒並み増額する動きがみられます。ドイツでさえ長い間メルケル首相がかたくなに守ってきた対国家予算比1.5%の軍事費を2%への増額を決定しました。まさかヒトラーの後継者が反ユダヤ主義とともに…などならないですよ。



## 《例会報告》

## 2022年4月度事務例会報告

書記 鈴木 茂

日時：2022年4月12日（火）17:00～18:15  
 場所：Zoom方式  
 出席者：今城H・T、岡田、鴨下、坂口、鈴木K・S  
 辻Ta・Tu、林、福島、横田（合計12名）

## 【議事次第】

## 1. 会長挨拶

コロナ感染がなかなか収まりそうもない状況に鑑み、本日の事務例会は全面Zoom方式とさせていただきます。ご了承ください。

## 2. 協議事項

## ①「つばめの杜保育所」への取組みの件

コロナ禍で現地訪問が叶わぬ中、「つばめの杜保育所」に対して、オンラインによる「リトミック教室」、「絵本の読み聞かせ会」などのプログラムを提案しているが、町立保育園の設置者にあたる町役場の人事異動があった関係で、保育所自体の行事計画も進んでいないとして、しばらく待ってほしいとの返事があった。については社会長より、先方からの回答を待ったうえで、具体策を検討して行きたいとの提案があった。協議の結果、提案を了承するとともに、次のような付帯意見が出された。

\* オンラインプログラムを実施する場合には、先方における映像の送・受信環境を確認しておくことが望ましい。

\* DVDに録画した画像を送るオンデマンド方式の方が、先方は利用しやすいのではないか。

## ②当クラブ今期予定の最終確認の件

当クラブの今期予定に関し、社会長から次の3点を最終確認したいとの提案があり、協議を経て了承された。

\* 4月本例会は、田園都筑教会において対面・Zoomのハイブリッド方式で開催することになっているが、懸案となっている「つるみクラブとのDBC締結の件」をその場で審議することにしたい。

\* 上記DBC案件につき承認を得ることができた場合には、つづき・つるみ・北YMCAの三者合同懇親会として開催を予定している5月本例会において、DBC締結式を行うことも視野に入れたい。

\* 入会意思を表明されている大野君枝さんにつき、6月例会で入会式を行ないたい。

## 3. 報告・確認事項

## ①クラブ関係

\* 今城宏子さん：毎月第3水曜日午後、夢カフェ

において、「つばめの杜保育所」あてのお誕生日カード作りを行なう予定である（4月は、13日の第2水曜日に実施。以降は毎月再三水曜日13:30～）

## ② 湘南・沖縄部関係

\* 社会長：第6回部エクステンション委員会兼新クラブ設立準備委員会を4月25日に開催。

\* 社会長：5/28（土）10:00～12:00・湘南・沖縄部研修会、テーマ・「法人化で目指すこと」、場所・舞岡地区センター（横浜YMCA指定管理施設）。

## ③ 東日本区関係

\* 社会長：ワイズ・ナイトフォーラム第5回・4/16（土）20:00～、卓話者・江夏一彰 牧師・医師（東京武蔵野多摩）、パネルディスカッション担当・北東部、第6回・6/25（土）、詳細未定。

## ④YMCA関係

\* 鴨下館長：新2022年度の諸プログラムは予定通りスタートした。

\* つづきクラブの2021年度プリテン印刷費・発送費を先般請求させていただいた。

## 4. 行事予定

・4/16（土）：ワイズ・ナイトフォーラム・20:00～。

・4/22（金）：本例会・17:00～、田園都筑教会、

・5/10（火）：事務例会・17:00～、田園都筑教会、ハイブリッド方式。

・5/27（金）：本例会・18:00～、三者合同懇親会・19:00～、「敦煌」。

・5/28（土）：湘南・沖縄部研修会・10:00～12:00、「法人化で目指すこと」、舞岡地区センター。

・5/28（土）：横浜YMCA会員総会・14:00～17:00、「聖光学院」講堂、ハイブリッド方式。

## 6. 閉会点鐘。



ZOOM会議は互いの顔が見えるだけ臨場感があります。

《4月本例会予告》

4月の本例会は、コロナ感染対策のため再三後送りとなってきた 堤 ひろみ さんによる『私のオルゴール物語』と題する卓話をお聞きすることとなりました。堤さんが愛してやまないオルゴールにまつわるお話をお伺いし、ご持参いただくオルゴールの美しい音色を楽しんで頂きます。奮ってご出席ください。以下に卓話者の自己紹介を掲載いたします。

『神戸市出身、横浜市在住約40年の好奇心旺盛、多趣味の主婦 堤 ひろみ さんです。2000年より庭のある家に住み始め、ガーデニングに没頭、資格を得て、コロナ前まで港北カルチャー講師、某住宅メーカー展示場のガーデンデザイン、メンテナンスを数カ所担当していました。

元々音楽、オルゴールが大好きで、薔薇の咲く庭とオルゴールのコラボに憧れ、友人とオルゴール館巡りを趣味としたことから、The Musical Box Society Internationalとその日本支部の会員になってしまいました。その会が、少しハイソサエティーの要素が強かったことから、2019年にオルゴール



大好き人間が集まる“日本オルゴール愛好会”の創設メンバーに入り、ゆるい活動を始めました。メンバーは、専門家、修復士、大学教授、オルゴール館経営など色々ですが、私は楽しむ専門家です。

芦屋に住む叔父、叔母(五十嵐政二、かほる)がワイズメンズクラブのメンバーで、その上、1886年の日本基督教青年会(YMCA)に、アメリカ留学中だった父方祖母の父 ~曾祖父 濱田清次郎~の名前がありました。

田園江田教会でのクラブ会員との出会いは神様のお導きだと感謝し、パンデミックや戦争の暗く悲しいニュースで沈みがちな昨今、「私のオルゴール物語」の漫談とオルゴールの音色で、つづきクラブの皆さんに笑顔をお届けできれば幸いです。』

なお、4月本例会は、都合により田園都筑教会において次の通り開催されます。お間違いなきようご注意ください。

日時：4月22日（金）17:00～19:00

場所：田園都筑教会

横浜市都筑区茅ヶ崎東3-11

《トピックス》TKB活動再開!

つづきクラブの“TKB”(Tsunami Kawaii Bachans)がいよいよ活動を再開しました。コロナにより長い長い活動中断期間がありましたが、マンボウも解けた去る4月13日、宮城県山元町「つばめの杜保育所」の子どもたちへ送るバースカード作りの作業を、TKBホームページ「夢Café」で再開しました。当日は、作業場所の換気や、消毒、SDに十二分の配慮をし、休会中の林 理子さんや岡崎 さよ子さん等も参加して下さり、暫しの手作業とおしゃべりの時を愉oshimしました。



《お目を拝借》上に掲げたのは、「日本資本主義の父」と言われる渋沢栄一翁の座右の銘と言われる夢七訓（ゆめしちくん）です。渋沢翁については昨年の大河ドラマで語られたことでもありご存じの方も多いと思います。今から120年前埼玉に生まれ、91歳で亡くなるまで、日本の激動期を逞しく生き抜いた偉人が掲げた、実に合理的かつロマンを感じさせる生き方・考え方ではありませんか。私自身、この歳になるまで一体どんな夢を持っていたか、持ち続けてきたか、振り返ってみるに情けなく感じています。 (TI 記)

▽横田ワイズズの筆はさえわたり、本号で連載7回目をかぞえます。単行本出版も間近か?▽地元神奈川でもマンボウが解かれましたが、またぞろ感染者が増加傾向にあります。春から初夏にかけて、クラブ活動に最適の時期ですが、今年はどうなりますか。今月は、つるみクラブと横浜北Yとの三者交流会が計画されています。▽コロナの関係で東日大震災被災地訪問が途絶えています。私達は皆さんのことを忘れていないことの証としてのバースカード作りをTKBが活動再開!元気づけられます▽今月も何とか6頁建てで発行できることになりました。感謝!!。

(編集子)

〜編集後記〜